⑩日本製特許庁(JP)

①実用新案出數公開

母 公開実用新案公報 (U) 平1-96814

@Int Cl.4

識別記号

庁内整理番号

❷公開 平成1年(1989)6月27日

B 65 D 1/42 25/20

Q-6540-3E

客査請求 未請求 (全 頁)

❷考案の名称 容器

砂実 駅 昭62-194134

❷出 顧 昭62(1987)12月22日

東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印刷株式会社内 四考 案 者 柿 木

凸版印刷株式会社 東京都台東区台東1丁目5番1号



明 細 書

- 1. 考案の名称 容器
- 2. 実用新案登録請求の範囲
- 1)金型内面にラベルを挿入、載置し、容器の成形と同時にその表面に該ラベルを貼着してなる容器において、その胴部の一部にパキューム吸収面を設けたことを特徴とする容器。
- 3. 考案の詳細な説明 < 産業上の利用分野 >

本考案は、温度変化による内容物の体積変化(減少)に伴う胴部、特にラベル貼着面のへこみを防止した容器に関する。

<従来の技術>

従来より、金型内面にラベルを挿入、載置し、容器の成形と同時にその表面に該ラベルを貼着してなる容器(以下単にインモールドラベル容器という)がある。該インモールドラベル容器は、容器の成形と同時にラベルを貼着するので、ラベル



貼着面の肉厚が薄くてもラベルが貼着できることから、樹脂を節約してコストを低減するため、通常この面の肉厚は薄く形成されている。

<考案が解決しようとする問題点>

ところで、上配容器に内容物を高温充填したり、あるいは、内容物を充填した容器を寒冷地で販売したり等した場合、温度変化により内容物の体積が減少して内圧が下がり、容器の一部、具体的には、肉厚が薄く形成されているラベル貼着面がへこんでしまい、ラベルが歪んでしまうという問題点がある。

<問題点を解決するための手段>

本考案は、上記問題点を解決するためになされたもので、金型内面にラベルを挿入、報置し、容器の成形と同時にその表面に該ラベルを貼着してなる容器において、その胴部の一部にパキューム吸収面を設けたことを特徴とする容器である。

< 作 用 >

本考案の容器は、温度変化により内容物の体積が減少して下った内圧をその胴部に設けたバキュ

ーム吸収面で吸収し、ラベル貼着面のへこみを防止する。

く実施例>

前記ラベル貼着面(4)(4)には、ラベル(8)(8)が貼着されている。該ラベル(8)は、基材シートの表面に、



文字, 絵柄等の所望のパターンが印刷され、その 裏面には、ホットメルト型の接着剤が塗布されて なるものである。

該ラベル(8)は、容器の成形と同時に容器胴部(2) のラベル貼着面(4)に貼着される。

具体的には、金型内面に予めラベル(8)をその表面が金型内面に向くように挿入、載置し、ブロー成形や二軸延伸成形等の成形方法で容器を成形すると同時に該ラベル(8)をラベル貼着面(4)に貼着する。これにより、ラベルは容器表面と面一になり、また、ラベル貼着面(4)を薄肉にしてもラベルを貼着することができる。

く考案の効果>

本考案の容器は、その胴部の一部にバキューム 吸収面を設けているので、温度変化により内容物 が体積変化し、内圧が下っても、バキューム吸収 面で吸収され、ラベル貼着面はへこまず、ラベル が歪むことはない。

4. 図面の簡単な説明

図面は本考案の実施例を示し、第1図はその正

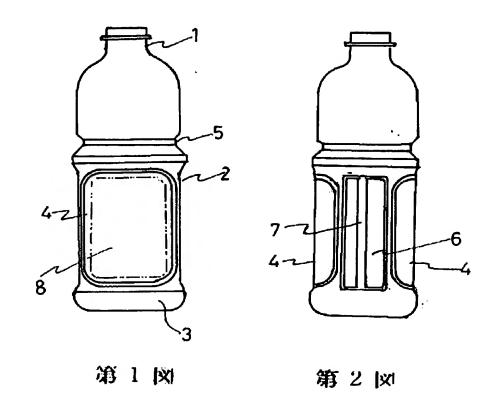


面図、第2図はその側面図である。

- (1) … 口部 (2) … 胴部 (3) … 底部
- (4) … ラベル贴着面 (5) … リブ
- (6) … バキューム吸収面 (7) … リブ

(8) … ラベル

実 用 新 案 登 録 出 願 人 凸版印刷株式会社 代 表 者 鈴 木 和 夫



177

実用新索登錄出願人 凸版印刷株式会和 代辦 鈴木和 夫

実開 1-96814